

検索技術者検定2級 受験の手引き

この手引きは、2級を受験される予定の皆さんが少しでも効率的な受験勉強を進められる様に、試験の領域および受験のための学習方法について説明したものです。この手引きをご利用いただき、効率的な受験勉強の参考にさせていただければ幸いです。

皆さんのご健闘を祈念しております。

1. 試験の対象者

2級試験の対象者は、企業等の情報調査・企画担当者、図書館司書、大学で専門の情報関係を履修した3,4年生等です。評価する能力としては、情報検索の基本的知識と応用スキル、さらには情報の関連知識です。

2. 試験の領域

試験で問われる内容は次のとおりです。

区分	内容
(1)情報検索技術に関する知識と実践	<ul style="list-style-type: none">・情報源の選択能力・検索システムに関する知識・コマンド、検索式、キーワード、シソーラス等の検索技術に関する一般的知識・情報要求者とのコミュニケーション能力
(2)情報組織化と流通	<ul style="list-style-type: none">・情報検索の歴史・データベースの種類・データベースの流通・情報サービス機関
(3)専門分野の情報	<ul style="list-style-type: none">・代表的な専門分野の情報資源と特徴・専門分野の検索戦略作成・専門分野の検索主題の解析能力・専門分野の調査結果の評価、考察・専門分野のサーチエイドに関する知識・英文マニュアルの解読力・インフォプロの役割
(4)情報の利活用	<ul style="list-style-type: none">・情報の管理・情報の分析

	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権、著作権に関する知識 ・情報と問題解決
(5)情報の最新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに関する知識 ・インターネットに関する知識 ・情報セキュリティに関する知識
(6)情報の伝達と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・思考過程を簡潔に表現する文章作成能力

(1) 情報検索技術に関する知識と実践

検索の仕組みについての理解、シソーラスや分類についての理解、検索システムの機能についての理解が求められます。検索システムの外観は、最近大きく変わってきていますが、中で動いている仕組みや索引は今までと変わっていません。テキスト（4.参考書参照）の第1章「情報の基礎」、第7章「検索の仕組み」、第8章「検索の知識」に必要な知識が記載されています。

(2) 情報組織化と流通

情報の流れについての理解が求められます。テキストでは第3章「データベースと情報の流通」が該当します。最近、ディスカバリー・サービスのような複合的なデータベースが多く登場していますが、その中身を正しく理解していることが求められます。

(3) 専門分野の情報

さまざまな分野の情報検索システムとデータベースについて、広い知識が求められます。テキストでは第2章「学術情報」、第4章「検索ツールとデータベース」、第5章「資料入手」、付録1「検索ツール各論」、付録2「データベース各論」が該当します。非常に多くのシステムやデータベースの説明がありますが、自分が日頃使用しているツールを中心として、周辺のシステム/データベースへの理解を広げるとともに、自分にあまり関係の無い分野についても大まかな知識を持つことが大切です。

試験の後半では、自分の得意とする分野での検索能力を問う問題が出題されます。ここでは、システムやデータベースに関して、テキストに書かれていない深い知識が要求されます。第9章「インフォプロと情報検索」も参照してください。

(4) 情報の利活用

インフォプロは、検索だけでなく、情報の管理や分析、活用など、情報に関連する周辺の知識が求められています。特に著作権についての正しい知識が要求されます。テキストでは第10章「情報の管理と活用」、第11章「情報の分析」、第12章「情報と問題解決」、第13章「知的財産」、第14章「著作権」が該当します。

(5) 情報の最新技術

コンピュータ、インターネット、および情報のセキュリティに関する基礎的な知識と、情報検索に関連するITの最近の動向についての知識が求められます。テキストでは第10章「情報の管理と活用」のセキュリ

ティに関する部分、第 15 章「コンピュータ」、第 16 章「ネットワークとインターネット」が該当します。

テキストには書かれていない、最近のトピックも出題されることがありますので、日頃から「情報の科学と技術」や「情報管理」の記事に気をつけておきましょう。

(6) 情報の伝達と評価

2 級試験の前半は選択式の問題ですが、後半は記述式の問題になります。ここでは、正確で意味のわかりやすい、簡潔な文章を書くことが求められます。

(7) 英語について

情報検索に関する英文のマニュアルが読める程度の英語力が求められます。

(8) その他

2 級では、テキストにないトピック、たとえば、最近の話題について出題されることがあります。日頃から情報検索を巡る話題について関心を持つようにしましょう。

3. 勉強の仕方

(1) テキストの勉強

テキストに記載されていることを、すべて覚えこむことは困難ですが、少なくとも書かれていることが理解できるようにしてください。すべてのシステムやデータベースについて、詳細に理解することは困難ですので、2(3)にあるように、まず自分の得意な分野のシステムやデータベースについてしっかり理解した上で、自分にあまり関係の無い分野についても理解を広げていくようにしましょう。

(2) 過去問題の勉強

ここ 3-4 年の過去問題は、解けるようにしてください。

(3) 周辺の勉強

「情報の科学と技術」、「情報管理」など情報調査に関連する雑誌で、情報検索を巡る最近の話題に親しんでください。また新聞などで関連する話題が記事になることもあるので注意が必要です。

4. 参考書

書籍：

2 級用テキスト「情報検索の知識と技術 応用編」 情報科学技術協会発行

雑誌：

「情報の科学と技術」、「情報管理」